

アイナメ籠導入 技術試験

アイナメ籠漁業の新規着業を
目指して

特別調査研究推進チーム

渡島南部地区水産技術普及指導所

函館水産試験場室蘭支場水産業専門技術員

椴法華村産業課

椴法華漁業協同組合

●目的

当海域のアイナメは、雑刺し網漁業で主に漁獲されているが、鮮度が低下しやすい魚種のためその価格は、概して低い。しかし、アイナメの肉質は、白身で柔らかく極めて美味で刺身や鍋物など調理の幅も広く、高級料理の食材としての需要が高いため、活魚では、高価格で取引されているのが現況である。

そこで雑刺し網漁業をアイナメ籠漁法に転換することにより、小型魚を保護するとともに漁獲されたアイナメの付加価値を高め、アイナメ資源の有効活用を図るため本調査を実施することとした。さらにアイナメ籠漁業の採算性を検討し、当海域における最適な本漁業の確立を目指す。

●調査方法

箱型及び扇型の2種類の試験籠を用いて籠の形状別比較の漁獲試験を行った。採捕した漁獲物については活魚出荷を行い、鮮魚出荷との販売単価の比較を試みた。

また、過去のアイナメ漁獲資料を解析し、その実態を把握した。

●成果

- (1)アイナメの活魚出荷を行う上で籠漁法の導入が有効であることが判った。
- (2)アイナメの活魚出荷では、1 kg以上の大サイズで鮮魚出荷の2倍程度と価格が高くなるため、活魚出荷は、大サイズで有効であることが確認された。
- (3)漁具である籠の形状は、箱型よりも扇型の方が、魚類の採捕において魚種も多様で効率が良いことが判った。
- (4)一部の地区でノナ（キタムラサキウニ）の入籠が大量に見られ、籠漁業を行う上で障害となることが判った。
- (5)当地区でのアイナメの漁獲実態を把握することが出来た。

●展望と課題

今回の調査でアイナメ籠漁業の有効性が確認された。このため当海域での籠漁業の新規着業を検討することとなった。

また、今後も、新規着業者に対し、操業日誌等の記帳を義務付ける等して根付け資源であるアイナメの資源動向を確認し、資源管理に努める必要がある。



図1 試験籠（箱型）



図2 試験籠（扇型）

表1 アイナメ籠漁獲調査結果

籠入日時	7/1 16:00	7/1 16:30	7/29 16:00	10/7 13:30	10/7 14:00	10/7 13:00
揚籠日時	7/3 16:00	7/3 17:00	7/30 16:00	10/9 13:30	10/9 14:00	10/9 13:00
留日数(日)	2	2	1	2	2	2
籠数	20	10	10	10	10	10
餌の種類	冷凍ホッケ	冷凍ホッケ	冷凍ホッケ	冷凍ホッケ	冷凍ホッケ	冷凍ホッケ
調査場所	銚子岬沖	富浦沖	銚子岬沖	水無海浜沖	蔭の浜沖	銚子岬沖
水深(m)	29.3~50	10	43.2	20	20	60
底層水温(°C)	8.9~4.5	14.6	10.1	16.9	16.9	12.4
漁獲物 (尾数)						
アイナメ	4					
ハゴトコ			1			
ホッケ	2		1			
ハバガレイ	3		3			1
ドンコ		4	1	40	48	21
ガヤ					1	
カジカ類	4		1	1	1	
ギンボ類		1		1	1	
ミスダコ		2	1	3		
ツブ類	4			13	24	1
ヒトデ		4				
ノナ		1		13	177	
ガゼ						3

表2 活魚出荷結果

品名	規格	数量(kg)	金額	単価	鮮魚単価
前浜ホッケ	中	0.6	240	400	160
油子	大	1.6	1,600	1,000	500
油子	中	0.8	400	500	400
ハバガレイ	小	0.4	240	600	300
活マダコ	小	4.0	1,080	270	240

※平成15年7月4日榎法華漁協販売仕切書より

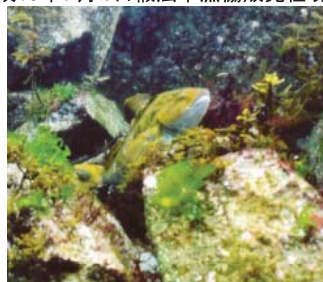


図3 アイナメの生息状況



図4 試験籠設置状況



【連絡先】 渡島南部地区水産技術普及指導所

住所 亀田郡恵山町字中浜73番地

電話 (0138-84-2353)

FAX (0138-84-2498)